

皆さんの声をお寄せください。教育に関することであればなんでもOKです。（できる限り住所・氏名等をお伝えください）

安平町教育委員会

25-2083
FAX 25-3603

平成29年度第12回教育委員会議決事項報告書等（2月27日開催）

①平成29年度教育予算（補正）について
②安平町立学校管理規則の一部を改正する規則について
③安平町教育委員会事務局の一部を改正する規則について

※臨時教育委員会は、3月9日に開催されました。第13回教育委員会（3月28日開催予定）の結果と併せて、次号でお知らせします。
また、教育委員会はどなたでも傍聴できます。
詳しくは教育委員会事務局まで（☎ 25-2083）

カンボジアの孤児たちと共に ～第一部の結びに～

文責
平和教育マスター
新井 榮



私は、およそ三年間、地雷障がい者と関わりながら生活してきました。この間、彼らから実際に多くのことを学ぶとともに、私たちの生活を見つめ直す、とてもいい機会を与えてもらったと思っています。結びにそのいくつかを、紹介したいと思います。まず彼らは、実にたくましい生活力の持ち主です。例えば、センターの周りには、沢山の食べ物が自生していますが、いつ・何処へ行くと、どんな食べ物があるかを、子供でも分かっているのです。だから飢えることなどありません。また生活用品のほとんどは、手作りですし、例え使えなくなってしまっても、私たちのように簡単に捨てたりせず、修理して使います。そんな彼らを見ていると、私たちの消費文化の暮らしに、警鐘を鳴らしてくれているように思えてならないのです。それなのにあなた達の暮らしはあまりにも貧しいと言って、彼らに生産を高める方法や、日本語を教え、私たちのような豊かさを与えようとしてきました。果たしてこれが、彼らを本当に幸せにすることになるのかどうか…こんな自問自答がいまだに続いているのです。そして、あまりにも安易に便利さや豊かさを求め過ぎた私たち、その結果地球温暖化を招き、風水害に苦しみ、原発事故で生活や故郷を奪われる人たちも…さらに貧富の差が大きくなり、それが学力偏重などの競争社会に…いつの間にか、人間が本来もっていたはずの、温かな人間性をも失いつつあります。私たちは、これからどのような生き方をしていけばいいのか、考えさせられることばかりです。次回は「第二部 カンボジアの人々の暮らし」を予定しています。

公民館図書室 新刊のご案内



新しい本がたくさん入りました！早来・追分どちらの公民館の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。

【早来公民館】

〈一般書〉血管を強くする「水煮缶」健康生活（田中 明）／禅僧が教える心がラクになる生き方（南 直哉）／くちなし（彩瀬 まる）／大獄 西郷青嵐賦（葉室 麟）／卑劣犯 素行調査官（笠本 稜平）

〈児童書〉泣けるいきもの図鑑（今泉 忠明）／10歳の質問箱 続 なやみちゃん、絶対絶命（鈴木 のりたけ）／はたらく（長倉 洋海）／タンタンのハンカチ（いわむら カずお）／あばけのがっこうへきてください（さくら ともこ）

【追分公民館】

〈一般書〉実践ポジティブ心理学 幸せのサイエンス（前野 隆司）／キュロテ 世界の偉大な15人の女性たち（ペネローブ・バジュー）／血流たっぷり！どこでもヨガ（三和 由香利）／竹林精舎（玄侑 宗久）／ファミリーデイズ（瀬尾まいこ）

〈児童書〉わたしたちのトビアス学校へいく（ボー・スペドベリ）／超巨大ブラックホールに迫る「はるか」が創った3万kmの瞳（平林 久）／きかんしゃ1414（フリードリヒ・フェルト）／パンダあやこたいそう（いりやま さとし）／根っここのこどもたち目をさます（ジビレ・フォン・オルファース）

※他にもたくさんの本を揃えています。ぜひご利用ください。

図書室開室日 火～日曜日 9時～17時

今月の展示テーマ 『7年経っても』

2011年3月11日（金）あなたはどこで何をしていましたか？東日本大震災から7年が過ぎました。日本中の人々が震災の映像を目の当たりにし、大きなショックを受けました。そして、直後の原発の事故。自然の猛威に人間とはいがに無力か、を思い知りました。安全とはなにか、それぞれが考え、備えるようになるきっかけとしては大きすぎた災害でした。北海道沖で巨大地震が起きる可能性も報道されています。豊かな自然に恵まれているからこそ、大きな災害も发生しやすい日本。日頃から非常に備えなければ、と思います。

